

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年8月7日 (第2回)
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	仙台市 04100
地域名 (地域内農業集落名)	根白石 (朴沢、福岡、根白石、西田中、小角、実沢)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	688.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	683.0 ha
② 田の面積	666.6 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	22.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	95.7 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	62.3 ha
(参考) 区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	207.4 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	185.9 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

・水稻を中心に生産が行われており、集落営農組織が集団転作で大豆を生産している。また、畜産や果樹の生産も行われている。 ・今後、認定農業者等が引き受ける意向のある耕作面積は、75歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積を大きく下回っている。 ・未整備の中山間地域では担い手がおらず、新たな引き受け手もない。 ・イノシシなどによる獣害や草刈り等の負担が大きく、条件が悪い農地は、ほ場整備や農地賃貸借契約の条件見直しなどにより、耕作しやすくする工夫が求められている。 ・イノシシなどによる農作物等の獣害被害がある。 ・団地や泉ヶ岳の近郊であること等の立地条件が生かされていない。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・水田においては、主食用米に加えて新規需要米や酒米を生産し、集団転作で集落営農組織が大豆の生産に取り組む。 ・担い手の耕作面積の増加に対応するため、水稻直播栽培を導入し作業の平準化を図る。 ・畑作では、地域の特産を目指して、きのこ類、つるむらさき、ミニトマトの栽培に取り組む。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・認定農業者等を中心に集積を図る。 ・担い手が少ない条件不利地については、機械利用組合等の設立の検討を含め、共同での耕作を検討する。 ・畑や畑として利用可能な未整備の水田については、認定農業者等への集積に加え、新規就農者の受入れを促進することにより対応する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	12.8	%	将来の目標とする集積率
			80 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
認定農業者等が利用する農地面積の団地数及び面積は、27箇所、平均210a(令和5年度時点)			
団地数の増及び団地面積の拡大を図る。(令和12年度)			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・ブロックローテーションに配慮しながら、担い手が分散した農地を集約して耕作できるよう、農地中間管理事業を活用して集積を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。 ・担い手の農地分散を解消するため、担い手間で農地を交換しようとする人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける。
(3)基盤整備事業への取組
・用排水路の整備や農道の整備、スマート農業の導入の必要性等について地域の理解を深め、基盤整備や再整備等に向けた地域の合意形成を図るために、必要な組織の設置を検討する。 ・小規模な修繕については多面的機能交付金を活用する等、地域で取り組める範囲で対応する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・小規模経営や兼業などの多様な経営体は、地域農業の活性化だけでなく地域社会の維持の面でも担い手とともに重要な役割を果たしていることから、経営の継続に向けた取り組みとして、機械更新の際は共同購入を検討することや、堀払い等の共同作業の場には、次の世代の参画を促す等、円滑な継承を図る取り組みを行う。 ・新規就農者を育成するため、市・農業委員会・県・JA等と連携し、相談から定着までの支援に取り組む。 ・繁忙期等の人手不足を解消するため、農業サポーター制度を活用する他、地域住民が農作業等に参画できる仕組みを地域で検討する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害防止対策
・各地区の獣害対策協議会においてワイヤーメッシュ柵を共同で管理し、修繕作業等を引き続き実施する。 ・地域ぐるみの捕獲対策において共同で捕獲活動を実施し、農作物被害の発生防止を図る。
⑦保全・管理等
・堀払い等の用排水路の保全是地権者も現在参加しているが、高齢化のため共同作業の参加者が減少していることから、中山間地域直接支払制度や多面的機能支払制度を活用し、堀払いを含めた地域保全を目的とした取り組みについて、地域住民が参加する仕組みを検討する。
⑩その他
・泉ヶ岳の行楽客や近郊の団地住民向けに地場産品を販売する定期市や直売所等の設置を地域で検討する他、清流で栽培した米のブランド化を図るとともに、特産品を目指し栽培品目等の検討を行う。 ・農業用機械の共同購入や、中古機械のマッチング等について地域で検討する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
		別紙のとおり				ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	170経営体		419.2 ha	183.7 ha		479.7 ha	171.1 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--